

# 後輩たちへのエール！ その4

2020年5月1日

## Unique の創造拠点としての大学

◇今回は、岡本幸喜さん（横浜国立大学）のエールです！

### はじめに

こんにちは、岡本幸喜です。私は関高校を卒業して2年間、名古屋の中京大学経済学部在籍し、編入学を経て、現在横浜国立大学の経済学部在籍し、交通を専門として学んでいます。この記事は現在関高校に在籍している高校生、これから入学を考えている中学生がみているということで、存在は知っているけれど具体的な実態がわからない「大学」について、私のこれまでの経験を基に話していこうと思います。これはあくまで私の考えであり正解ではありません。ただ、この話がこれからの皆さんにとって、なにかヒントになることができれば幸いです。

### 大学に行く意味とは？

皆さんが想像する「大学」とはどのようなものでしょうか？ 勉強、研究、サークル、飲み会、恋愛などなど色々浮かぶと思います。しかしこれらは大学に行く目的ではなく、「ユニーク＝あなたならではの」を生み出す手段であると私は考えています。大学は自由な場所といえども、高校までの周りに合わせて行動することを引きずり、大半の学生は同じような生活を送り、良くも悪くも同じような人になっていきます。「あなたならではの」は大学でしか生み出せないものではありません。しかし大学はその機会をどこよりも与えてくれます。そしてそれはこれからのあなたにとって大きな武器となります。これが大学に行くことの一番の意味(価値)だと思います。

### 大学の選び方

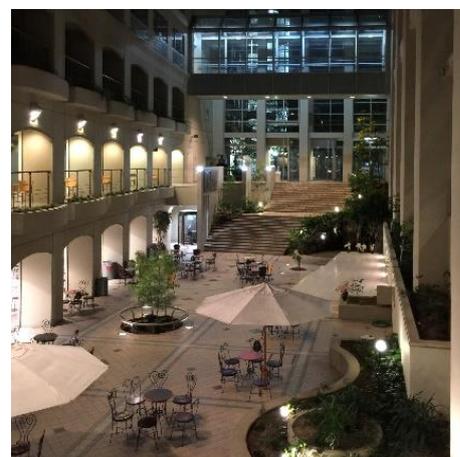
皆さんは大学をいくつ知っていますか？ 東京大学、京都大学、名古屋大学など中学生の方でも少なくとも片手分は挙げられると思います。日本には公私合わせて、なんと約770校もの大学があります。関高生の皆さんやこれから入学する皆さんの多くが今後この中から志望校を探し、最終的に一つの大学を選ぶことになると思います。ここで私がお願いしたいのは、「大学選びは時間をかけてしっかりおこなってください」ということです。おそらく高校生の皆さんはこれまでも先生方から何度も言われていると思うので、「そんなこともう

散々聞いているわい!!」と思っている人が多いと思います。ただ、思っているだけで実際にやらないのが人間です。私もその一人でした。「社会が得意でレベル的になんとかかなりそうだから」という理由で志望校を決めたかつての自分に会えることなら、机を踏み台にして顔面に飛び蹴りをしてやりたいです。それくらい大学選びは大切なことです。

大学選びが重要なことがわかったとして、実際に選ぶ際何を基準にどうやって決めればいいのでしょうか？ 基準は色々あると思いますが、大きなものの一つとして「国公立と私立どちらに行くか問題」があると思います。世間では、「国公立大学最強論」が蔓延しており、国公立に進学したほうが有利という風潮があります。しかし私は国公立が必ずしも優れているとは思いません。私が実際に国立大学と私立大学の両方をみて思った、双方の良い点をいくつか挙げていきたいと思います。

国公立大学の良い点	私立大学の良い点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何と言っても授業料が安い</li> <li>→約 55 万円/年⇔私文 70 万円～、私理 100 万円～(+設備費約 20 万円)</li> <li>・ 研究環境が充実(特に理系に影響)</li> <li>※在籍する研究者のレベルより変化</li> <li>・ 講義レベルが適切</li> <li>→入試方法によって学力差がある私立大学では下のレベルに合わせる(教員談)</li> <li>・ 全国どこでもある程度名が通る</li> <li>→国公立ブランドは全国共通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備が充実していて快適</li> <li>→他大学との差別化のために</li> <li>清掃も徹底(トイレの綺麗差歴然)</li> <li>・ 教員の採用に力を入れている場合あり</li> <li>→差別化、有名な人を招いて宣伝に、学ぶ環境としては最高</li> <li>・ 就職、資格取得支援が充実</li> <li>→大学を選ぶ際の基準になる、広告に</li> <li>・ ニーズに合った多種多様な学部</li> <li>→結局理由は人を集められるから</li> </ul>

と、もちろん例外もありますがおおよそこんな感じです。上の表からも分かるようにどちらかが圧勝しているということはなく、両者にメリット、デメリットがあります。行きたい学部・学科と自分のニーズに合わせてどちらがいいのか考えてみてください。ただ、学費に関しては宝くじが当たらない限り、多くの人が自分だけの力ではどうにも出来ない部分になると思います。親の立場からすれば学費を出来るだけ払わなくて済むに越したことはありません。何も言わずともお金を出してくれる家庭もあるかもしれないですが、大学進学にかかる費用は想像以上のものになるはずで、それだけのお金を払ってまで行くからには、何かしらの目的や理由がある程度必要だと思っています。では、その目的や理由はどのように考えればいいのでしょうか？



中京大生自慢の名物ガレリア

(私立大学は国公立大学に比べて、返却義務のない奨学金が充実しています。例えば、中京大学では一般入試成績上位者の四年間の学費全額免除など、場合によっては国公立に行くよりも安くなるケースもあります。ぜひ各大学の奨学金制度も調べてみてください)

### 夢ある者の力

私に関高校に入学した理由は、通学路に坂が無く、近い高校だったからという非常に浅はかなものでした。入学してからものんびりと過ごし、数学赤点は当たり前、志望校もそれっぽい所を書いて終わりという逆模範高校生でした。残り半年を切った夏休み過ぎから危機感を感じて受験勉強を始めるも、「時すでに遅し」、見事に第一志望の大学には落ちてしまいました。そして中京大学に入学することになるのですが、私はそこで交通経済学を専門にしている教授に運命的な出会いを果たしたのです。

私は元々、色々な要因が絡み合いながら成り立っている交通というものに関心はありましたが、それを学問的に考えることができるとは思っていませんでした。この出会いをきっかけにして、私は交通について学ぶための道具として経済学を学ぶようになりました。その中で多くの研究者と係わる機会があり、次第に交通を対象とした研究をより本格的に行いたいと考えるようになりました。その目標をかなえる手段として交通の中心地である関東にある大学で、より研究がさかんな横浜国立大学へ、編入学試験(大学によって異なるが専門科目、英語、面接などが課される院試に近い試験)を経て移籍しました。入試方式は違えども、高校生の時の受験と大学生になってからの受験の結果に違いが生まれたのは、前者が合格を目的にしていたのに対して、後者は研究をしたいという目標をかなえるための手段としていたという合格に対するスタンスの違いによるものだと思います。このことから言えることは、「夢や目標のある人はめっちゃ強い!!」ということです。もちろんそんなものが無くても頑張れる人もいるとは思いますが、あるに越したことはないと思います。そこで皆さんには大学合格の先にある目標を早い段階で見つけることをお勧めします。「そんなこと言っただって、夢や目標なんて簡単にできっこないよ!!」といわれるかもしれませんが、そう言う前にまずはアクションを起こしてください。例えば、皆さんの多くは「スマートフォン」という手で何でもできちゃう最強のツールを持っていると思います。一時間でもいいので、大学や研究、仕事などで自分の関心に近いものがないか調べてみてください。たった一時間が夢や目標ができるきっかけになり、今後の人生を変えたとしたらコストパフォーマンス最強だとは思いませんか？

### 最後に

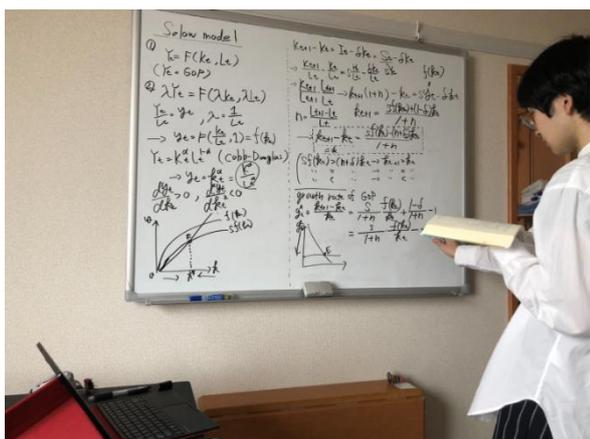
「学歴なんて関係ない、四年間で何をやったかが大切だ」という人に対して「学歴は関係ある」という人がいます。どちらが正しいのでしょうか？ 私はどちらか一方だけが正しいとは思いません。確かに学歴が必要になる時もありますが、大学名を抜いた時に中身がスカスカで何も残らないようでは意味がないと思います。そのようなことにならな



中京大学時代、毎日のようにこもっていた個人学習室

いたためにも何か行動や挑戦をしてください。今は無意味なことに思えても、そこで得た経験や人との繋がりは必ず生きてくる時がくると思います。また、後になってわかることですが、勉強に専念できる高校生という時間は本当に貴重で価値のある時間だと思います。そんな高校生活を全力で駆け抜けてください（もちろん勉強だけが高校生活では無いですが）。そして繰り返しにはなりますが、「あなたならでは」を作ってください。今はまだ夢がない、目標がないという人でも今後の活動において大きな武器になると思います。私も「私ならでは」の更なる熟成を目指して、挑戦し続けていきたいと思っています。

微積分や線形代数などの数学的手法を用いることが多い経済学は、特に文系の人からすると、避けられやすい学問かもしれません。もちろん数学が得意であることに越したことはないですが、経済学が対象としている領域は多岐にわたります。間口の広い経済学は文系、理系問わず受け入れてくれる懐が深い学問だと思います。そんな経済学を学びながら、私はいま地域経済学を専門にしている教授のもとで活動しており、将来的には新たな交通サービスの提供による経済への波及効果を、産業連関表を用いて分析する研究や、経済の効率化を促す経済学的手法を用いた交通政策に関する研究をしたいと考えています。興味があればぜひお声掛けください。



友人などと勉強したいテーマや教科書を決めて話し合いながら進めていく勉強会



和町駅から20分程登山した先にある横国は港町横浜のイメージとは遠い森